

主な10の理由お客様が NVMe対応のDell EMC PowerMaxを選択する理由

10

ミッション クリティカルなアプリケーション向けに構築され、[最新のNVMeテクノロジー](#)を使用して設計されたPowerMaxを使用して、モダン データ センターへの移行を加速化します。お客様がPowerMaxを選ぶ主な10の理由をご紹介します。

1 | モダン アーキテクチャ

PowerMaxには、最新のメディア（フラッシュやストレージ クラス メモリー – SCMなど）のパフォーマンスを最大限に活かすエンドツーエンドのNVMeを搭載した、将来を見据えたマルチコントローラー スケールアウト アーキテクチャを標準で備えています。PowerMaxの購入を検討いただき、NVMe over FabricsおよびSCMドライブで大幅なパフォーマンスの最適化を実現してください。

2 | インテリジェント ソフトウェア

PowerMaxOSは、予測分析とパターン認識を活用してオーバーヘッドなしでパフォーマンスを最大限に高める、組み込みの機械学習エンジンで自律型ストレージを実現します。Dell EMCのハイエンド アレイは、すでに4,250億を超えるデータ セット⁴をリアルタイムで分析しており、このレベルのインテリジェンスとオートメーションを提供する分野においてリーダーとなっています。

3 | 驚異的なパフォーマンス

その速さを実感してください。実際、PowerMaxは、要求が厳しいOLTP、意思決定支援、リアルタイム分析、および仮想化アプリケーションに対し100マイクロ秒未満の読み取りレスポンス タイム³で、最大1,500万IOPS¹と1秒あたり350 GB²を実現します。PowerMaxを使用すれば、一貫して低いレイテンシーで非常に高いパフォーマンスが提供されることを確信できます。

4 | ストレージの効率を最適化

効率性は当社の得意とする分野でもあります。最新のインライン データ重複排除および圧縮テクノロジーにより、Dell EMCが保証する3.5:1のデータ削減が実現します。さらに、重複排除と圧縮はパフォーマンスにほとんど影響せず、すべてのデータ サービスで機能し、アプリケーションでオン/オフを切り替えることができます。この点に妥協はありません。

5 | ミッション クリティカルな可用性

ミッション クリティカルな可用性について言えば、PowerMaxほど優れたものではありません。PowerMaxは、SRDF/Metro Smart DRによるアクティブ-アクティブのデータ センター レプリケーション、無停止のハードウェアおよびソフトウェア アップグレード、または耐障害性に優れ単一障害点のないアーキテクチャのいずれにおいても、ミッション クリティカルなアプリケーションに対して99.9999%の可用性⁵を実現します。PowerMaxを使用すれば、予期しないダウンタイムを回避できます。

10 お客様がPowerMaxを選ぶ理由

6 | 優れたセキュリティ

PowerMaxは、データを長期間保護する驚くべきセキュリティ機能を提供します。まず、高効率エンドツーエンド暗号化により、ホストからすべてのPowerMaxドライブに送信されるデータを高効率で保護します。これにより、お客様は暗号化データについて3.5:1のデータ削減（保証済み）を実現できます。アクセス制御とロールベースの認証により、承認された担当者のみがPowerMaxを管理できるようになります。また、SnapVXのセキュアスナップショットは、スナップの偶発的または悪意を持って行われた削除を防ぎ、指定された保存期間に達するまでスナップを保護します。PowerMaxを使用すればデータが安全であることを確信できます。

7 | 高度なVMware統合

PowerMaxは、VMware vSphereが提供するすべてのコアストレージイネーブラーとの緊密な統合を実現します。ストレージオフロードのコアVMware APIであるVAAIは、vSphereクラスターのパフォーマンスを大幅に向上させます。また、PowerMaxは、VMware Virtual Volumes (VVols) 2.0、VASA V3.0、およびSite Recovery Manager (SRM 8.3) をサポートしているため、VVolsのストレージポリシーベースの管理 (SPBM) のシンプルさ、SRDFの高可用性、およびPowerMaxの拡張性 (最大64,000 VVols) によるメリットを得ることができます。

8 | 非常に優れた拡張性と統合

大規模と言うのは控えめな表現かもしれません。PowerMaxは、最大4.5 PBの有効容量まで拡張し、ブロック、ファイル、オープンシステム、メインフレーム、IBM iワークロードを単一のアレイに統合することができます。これにより、物理的な設置面積、電力と冷却の要件、および運用コストが削減されることで、総所有コストを削減できます。また、最大64,000のデバイス/LUNを備えたPowerMaxアレイには、レプリカ、スナップショット、およびストレージの増加における予期しないバーストに備えて十分な余裕があります。PowerMaxで安全に拡張できます。

9 | 実証済みのデータ サービス

PowerMaxは単なるエンタープライズストレージアレイではなく、それ以上のものです。SnapVXスナップショット、SRDFアクティブ-アクティブデータセンターレプリケーション、高効率エンドツーエンド暗号化、Dell EMC PowerMax向けクラウドモビリティなどの信頼できるデータサービスを実現します（スナップショットをオンプレミスからクラウドに簡単に移行できます）。何よりも、高価値のPowerMaxソフトウェアは、2つのシンプルなアプライアンスベースのソフトウェアパッケージで提供されます。Essentialsは、ローカルレプリケーション、移行ツール (NDM)、圧縮と重複排除、クラウドモビリティなどを提供します。Proパッケージでは、リモートレプリケーション、パスフェールオーバー、暗号化、SRM、およびAppSync iCDMアドバンスが追加されます。RecoverPointの異機種混在レプリケーションとPowerProtect Storage Directは、個別オプションとして購入できます。

10 | ROIを促進

Dell EMC Future-Proof Programは、ストレージ購入の心配を解消します。PowerMaxをご購入いただくと、3年間の満足度保証、3.5:1のデータ削減保証、安心のデータ移行、ハードウェア投資保護などが利用できます。PowerMaxがあれば安心感を得られます。

1 PowerMax 8000のランダム読み取りヒットと1秒あたりの最大IO (1つのアレイ内) に関するDell EMCの社内分析 (2020年8月) に基づきます。

2 PowerMax 8000のランダム読み取りヒットと1秒あたりの最大MB (1つのアレイ内) に関するDell EMCの社内分析 (2020年8月) に基づきます。

3 ランダム読み取りヒットベンチマークを使用した1台のPowerMax 8000アレイに関するDell EMCの社内分析 (2020年8月) に基づきます。

4 インストール済みの機械学習機能のDell EMCハイエンドアレイ全体にわたるアクティビティに関するDell EMCの社内分析 (2020年8月) に基づきます。

5 1台のPowerMax 2000または8000アレイに関するDell EMCの仕様 (2020年8月) に基づきます。実際のシステムの可用性は異なる場合があります。



Dell EMC PowerMax
ソリューションの[詳細情報](#)



Dell EMCエキスパートに
[問い合わせる](#)



他のリソースを[表示](#)



コミュニティに参加
[#POWERMAX](#)